

Focus

外食・水産関連 **初!**

和歌山県と包括連携協定を締結

10月5日、和歌山県では外食や水産関連としては初となる包括連携協定を締結いたしました。具体的には「養殖技術の開発・普及における相互連携」、「地元雇用など水産業就業機会の創出」、「和歌山県産品を活用したメニュー販売などを通じたPR協力」、「県内小中学校等への魚食普及や食育活動における協力」などにおいて、和歌山県との連携を強化します。協定締結を記念し、「無添蔵」にて和歌山県産品を使ったお寿司や地元ゆかりのメニューを期間限定で販売しました。これを機に、当社が進める漁業創生の取り組みをさらに強化し、地方創生にも貢献してまいります。



関西2店舗目

グローバル旗艦店「なんばパークスサウス」オープン

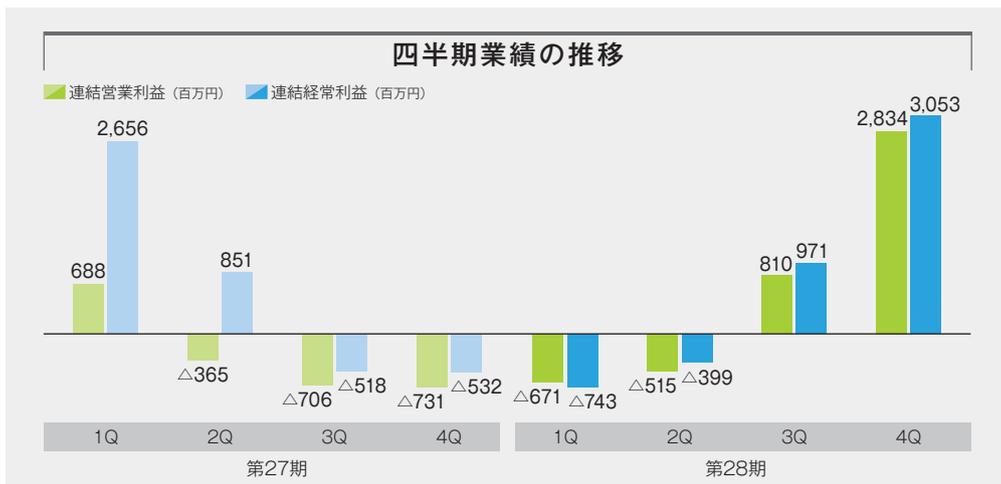
7月1日、関西2店舗目のグローバル旗艦店「なんばパークスサウス」をオープンいたしました。当社では、和食を代表する回転寿司の文化を海外にも広めていくため、“ジャパンカルチャー発信型店舗”として、



2020年に「グローバル旗艦店」第1号店を東京・浅草にオープン。今回の店舗が、国内、台湾合わせて6店舗目となります。昨年10月以降、グローバル旗艦店では海外からのお客様が日に日に増えており、浅草店・原宿店・押上店では約15倍に、道頓堀店においては約30倍に増えております。今後は、2025年の「大阪・関西万博」などを機に、さらに多くの訪日外国人客のご利用が期待されます。



代表取締役社長 田中邦彦



当連結会計年度(2022年11月1日から2023年10月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へ移行したことに伴い、個人消費やインバウンド需要に回復の動きが見られました。一方で、米国・欧州におきましては急激なインフレに対応するため、急ピッチの利上げ政策がとられ、日米の金利差拡大による円安が進行し、日本国内におきましても輸入品目を中心に物価の上昇が進みました。経済活動の正常化に伴い、人手不足に起因する賃金上昇が続くなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、コロナ禍の収束に伴い、人流が改善するなどの回復傾向がみられる一方で、コロナ禍を通じた生活様式の変化や節約志向の高まりも顕在化してきております。また、原材料価格や物流費、人件費、光熱費の上昇といったコスト増の影響もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、抗菌寿司カバーを始めとする安心・安全に関するさまざまな取り組みを行いながら、回転レーンを通じて、回転寿司本来の手軽さと楽しさを追求してまいりました。

店舗開発につきましては、国内23店舗、米国10店舗、台湾6店舗に加え、中国大陸(上海)に3店舗を出店し、計42店舗となりました。この結果、当連結会計年度末の店舗数は、全て直営で649店舗(「無添蔵」4店舗、「くら天然魚市場」1店舗、米国50店舗、台湾53店舗、中国大陸3店舗を含む)となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,114億5百万円(前年同期比15.5%増)、経常利益28億82百万円(同17.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は8億63百万円(同15.9%増)となりました。

セグメント業績は次の通りであります。

■ 日本

人流が回復してきたことに加え、コストアップに対応するため、きめ細かく適正に商品設計させていただいたことが奏功し、収益面の改善に貢献いたしました。販売面におきましては、2023年4月から地域の旬の地魚を毎週お楽しみいただける「くらの逸品シリーズ」を本格導入し、2023年7月より取り扱いを全国に拡大しております。また、「かに」「まぐろ」など人気の高い商品を中心としたフェアを展開したことに加え、人気アニメ「ポケモン」や「呪術廻戦」とのコラボレーションによるグッズプレゼント等のキャンペーンを実施したことにより、当連結会計年度における売上高は過去最高となりました。

店舗展開につきましては、グローバル旗艦店として、日本国内5店舗目(関西2店舗目)となる、「なんばパークスサウス店」を2023年7月にオープンいたしました。都市部を中心に、急速

に回復するインバウンド需要の取り込み強化を図っております。

くら寿司では、お寿司が回るエンターテインメント性を大事にし、回転寿司本来の“楽しさ”を提供してまいりました。当社独自の抗菌寿司カバーを活用し、回る寿司の楽しさを感じていただくとともに、お客さまが入れ替わるごとに、醤油差しなどの備品を入れ替え、安心・安全に食事ができる環境を整備しております。

以上の結果、売上高1,638億61百万円(前年同期比9.3%増)、経常利益13億81百万円(前年同期比18.7%増)となりました。

■ 北米

米国子会社 Kura Sushi USA, Inc. (KSU) におきましては、米国経済が堅調に推移したことに加え、期初より出店を継続してきたことが奏功し、当連結会計年度は売上高、収益面ともに好調を維持いたしました。2019年8月のNASDAQ上場以降で初めて、通期におきまして経常利益の黒字化を達成いたしました。

以上の結果、売上高259億75百万円(前年同期比51.3%増)、経常利益2億47百万円(前年同期は経常損失82百万円)となりました。

■ アジア

台湾子会社 亞洲藏寿司股份有限公司(KSA)では、新型コロナウイルス感染症による影響は無くなり、消費の回復傾向から売上高は順調に推移いたしました。販促面におきましては、人気アニメ「名探偵コナン」や「クレヨンしんちゃん」のグッズプレゼントを採用するなどの取り組みを継続いたしました。また、2023年5月には海外店初となるグローバル旗艦店である「高雄時代大道店」をオープンし、当連結会計年度の業績は前年同期間対比で、増収増益を達成しております。

上海藏寿餐飲管理有限公司(KSS)では、2023年6月に中国大陸での1号店となる「龍之夢中山公園店」を開店しました。その後も2店舗を続けて出店し、当連結会計年度末の中国大陸での店舗数は合計3店舗となりました。

福島第一原発の処理水放出に伴う中国の日本産水産物の輸入停止、中国国内世論の反発による、売上等への影響につきましては、現状は落ち着きつつありますが、今後も慎重に動向を注視してまいります。

以上の結果、売上高215億67百万円(前年同期比35.3%増)、経常利益は14億65百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

株主の皆様には、一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



アジア(上海) 100兆円市場に初進出!

くら寿司 龍之夢中山公園店

2023年6月15日、上海市にくら寿司「龍之夢中山公園店」をオープンしました。当社では、国内のみならず、2009年にアメリカ、2014年に台湾に出店しており、2023年10月末時点では海外合計で106店舗を運営しています。また、2023年5月には海外初となるグローバル旗艦店を台湾・高雄市にオープンし、海外での展開をますます加速させていきます。約100兆円の的外食市場を抱える市場にて、この1号店出店を機にまずは100店舗を展開することを目指しております。



▲くら寿司「龍之夢中山公園店」



アジア(台湾)

2023年9月12日、台湾・桃園にくら寿司「八徳興豊路店」がオープンしました。台湾におきましては2014年12月に「松江南京店」を初出店以降、同店を含めると53店舗になります。オープン当日はたくさんのお客様に来店いただきました。6月6日には「台中三井LaLaport店」、7月11日には「彰化員林大道店」がオープンするなど、順調に店舗数を拡大しています。

くら寿司「八徳興豊路店」▶



米 国

2023年9月17日、ペンシルベニア州にくら寿司「ピッツバーグ店」がオープンしました。米国におきましては、2009年9月に「アーバイン店」を初出店以降、同店が51店舗目となり、節目となる50店舗の大台を超えています。全米では可能性が大きく広がっており、まだまだ通過点ではありますが、今後も積極的に出店を進めてまいります。

くら寿司「ピッツバーグ店」▶



株主優待

- 株主優待割引券は、当面の間、ご希望の株主様に「紙」でも発行します。
- 電子チケットご利用の場合の加算は終了させていただきます。

電子チケットでも紙でも同じ額です

当社の事業へのご理解をより深めていただくため、株主の皆様へに会計合計1,000円(税込)ごとに500円のご利用が可能な「株主優待割引券」を進呈しております。

スマートフォンで手軽にご利用頂ける電子チケットにて発行しておりますが、ご希望に応じ「紙」での発行にも対応しております。



所有株式数	株主ご優待割引金額
100株～199株	2,500円分のご優待割引券
200株～399株	5,000円分のご優待割引券
400株～999株	10,000円分のご優待割引券
1,000株以上	20,000円分のご優待割引券

Corporate & Stock Info

会社&株式情報 (2023年10月31日現在)

商号 くら寿司株式会社
創業 1977年5月 会社設立 1995年11月
代表者 代表取締役社長 田中 邦彦
事業所 本社 / 堺市中区深阪1丁2番2号
埼玉事務所 / 埼玉県日高市馬引沢345番1
中野事務所 / 東京都中野区中野3丁目33番3号 インツ中野ビル
梅田事務所 / 大阪市北区梅田1丁目11番4号 大阪駅前第4ビル
貝塚事務所 / 大阪府貝塚市小瀬188番地
大阪センター / 堺市中区深阪1丁2番2号
埼玉センター / 埼玉県日高市馬引沢345番1
福岡センター / 福岡県糟屋郡宇美町ゆりが丘2丁目14番1-1号
貝塚センター / 大阪府貝塚市小瀬188番地
店舗 国内: 543店舗 海外: 106店舗 総計649店舗
取引銀行 三井住友銀行 三菱UFJ銀行 紀陽銀行 みずほ銀行 京都銀行

役員 (2024年1月26日現在)
代表取締役社長 田中 邦彦
取締役副社長 田中 裕信
常務取締役 久田 宗子
取締役 田中 中野
取締役 津田 京子
取締役 岡本 一之
取締役 藪内 薫
取締役 尾越 健弘
取締役 榎本 二保
取締役(常勤監査等委員) 山本 宏士
取締役(監査等委員) 大田 洋
取締役(監査等委員) 北川 洋
注) 榎本弘一氏、大田宏氏及び北川洋士氏は、社外取締役であります。

株式の状況

発行可能株式総数 160,000,000株
発行済株式の総数 41,399,600株
株主数 45,844名
大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ウォルナットコーポレーション	11,642,000	29.2
田中 信	4,000,000	10.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,916,000	7.3
株式会社トラスト	1,900,000	4.7
くら寿司従業員持株会	761,100	1.9
田中 邦彦	640,000	1.6
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	622,400	1.5
田中 節子	480,000	1.2
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	473,600	1.1
第一生命保険株式会社	427,800	1.0

注) 1. 当社は、自己株式を1,653,927株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式基本情報

事業年度 毎年11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会 毎年1月に開催
基準日 ■定時株主総会 / 毎年10月31日
■期末配当金 / 毎年10月31日
■中間配当金 / 毎年4月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)
(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
電子公告 <https://www.kurasushi.co.jp/>
公告方法 電子公告 <https://www.kurasushi.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 プライム市場

株主の皆様の声をお聞かせください



当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 [☒ koekiku@pronexus.co.jp](mailto:koekiku@pronexus.co.jp)